

## DNW-21001 の概要

課題名 : MYC の活性を制御する新規分子標的薬の探索  
主任研究者 (Principal Investigator) :  
梶野 泰祐 (愛知県がんセンター研究所)  
ステージ : 標的検証後期

### 【標的疾患】

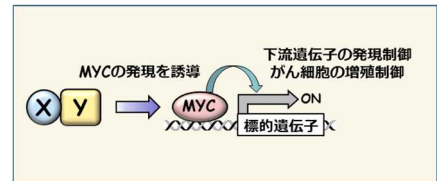
肺がん等、MYC 高発現のがん

### 【創薬標的】

がん遺伝子 MYC の発現を制御する新規分子 X

### 【創薬コンセプト】

がん遺伝子 MYC の発現を制御する新規分子 X とたんぱく質 Y の結合を阻害することにより、MYC の活性を抑制し、がん細胞の増殖を抑制する。



### 【ターゲットプロダクトプロファイル】

MYC 高発現の肺がん等に対して、単剤又は既存薬との併用によって抗腫瘍効果を示す分子標的薬

### 【モダリティの設定】

低分子化合物

### 【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 代表的ながん遺伝子の MYC の発現制御を通じて肺がん細胞の増殖を維持する新規分子 X を見出した。
- 2) 新規分子 X と協調して働くタンパク質 Y を同定し、X と Y が結合して MYC の転写を制御していることを見出した。

### 【科学的、技術的な優位性】

X と Y の結合阻害により、代表的ながん遺伝子であり肺がん細胞の増殖に必須な転写因子 MYC の発現を抑制するというコンセプトは、PI らが見いだした知見に基づくも

のである。

**【支援ステージにおける目標】**

1. X と Y の結合阻害による抗腫瘍効果および正常細胞への影響を検討し、創薬標的の妥当性が確認できること
2. 化合物評価系が構築されていること

**【関連特許】**

無し

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : [id3desk@amed.go.jp](mailto:id3desk@amed.go.jp)